



DANCE FORCE

ALL JAPAN DANCE CHEER COMPETITION

2023

2023.3.11 (sat) & 12 (sun)
国立代々木競技場第二体育館

競技・演技規定

Cheer Dance 【Pom/Cheer Dance】 Competition 部門 Mini/Youth 編成

この部門は DANCE FORCE 独自のスコアシートによる、一般的な大会と同様、点数ジャッジ及び順位が発表される

Mini 編成 / Youth 編成	
演技内容	振付・演出・使用する楽曲は、すべての観客に適切かつエンターテインメント性に富んでいること
審査	CFE 公認ジャッジ及びゲストジャッジによる審査 評価基準についてはジャッジシートを参照
人数	3人以上で構成されていること（人数による編成分けの有無に関してはエントリー数に準ずる）
演技フロア	1) 奥行 15m×幅 15m以内とする 2) 演技者以外のフロアへの立ち入り、及び演技者以外が演技に関わる行為は禁止
衣装 身だしなみ	1) 衣装・メイクアップは自由とするが年齢に相応であり、全ての観客に対し適切であること 2) 履物は自由とするが、靴下やタイツのみ、または床を傷つける恐れがあるものは禁止 また演技中に脱げてしまう、落下することが無いようにすべての衣装は安全でなければならない
カテゴリー スタイル	演技全体を通して Pom を使用することを推奨するが必須ではない 美しく、シャープで正確な Pom のモーションとダンステクニック、視覚的効果や同調性が求められる。チームがシンクロし、ひとつに見えることが重要となりダンステクニックを織り交ぜつつも伝統的なチアリーダーの要素も加味する事
演技時間	1分30秒以上 2分00秒以内
手具・道具	Pom 以外の手具（小道具・大道具など）は使用不可

安全規定	<ul style="list-style-type: none"> ① 安全性を考慮していない危険な行為、フロアを傷つける恐れのある行為は禁止 ② 手に全体重をあずける動作は、手に何も持っていない状態で実施しなければならない(例外：前転・後転) ③ 立位・逆さの体勢やターンから、膝・腿・座位・うつ伏せ・仰向け・スプリットポジションの姿勢になる場合は、少なくとも片手または片足に体重が乗るように行うこと ④ ジャンプ・空中から演技フロアへ着地する場合は、少なくとも片足に体重が乗るように行うこと 但し、ジャンプ・空中に浮いた際の手の位置が腰レベルより下の場合に限り、手(片手含む)からの着地が可能。後方への導入は不可
タンプリング	タンプリングをしている選手の上や下を、タンプリングをしながら通過・越えることは禁止 タンプリングは実施できるが推奨はされない
リフト&パートナーリング	リフト・パートナーリングは実施できるが推奨はされない
減点について	違反技・違反行為を行った場合は 1 違反につき最終スコアから-2 点の減点とする
その他	<ul style="list-style-type: none"> 1) 主催者は安全性や大会運営に支障があると判断した場合、演技順の変更、演技を中断する権利をもっている 2) 演技順の変更・演技の中断は原因により下記の扱いとし、全ての判断は主催者が行う <ul style="list-style-type: none"> ① 音響機材や施設の不備など、チーム起因ではない不測の事態の発生、及び傷病者の発生などのトラブル ② 道具・衣装・音源の不備やチームの責任によるトラブル 再演技の審査は一度審査した内容は破棄され、改めて一曲通しての審査となる 3) チームの代表者（音響担当者）は演技中に続行が不可能と判断した場合、演技の中断を申請することが出来るがこの場合は棄権とみなす

Cheer Dance 【Pom/Cheer Dance】 Competition 部門 Junior/Senior/Open 編成

この部門は CFE 独自のスコアシートによる、一般的な大会と同様、点数ジャッジ及び順位が発表される

Junior 編成/Senior 編成/Open 編成	
演技内容	振付・演出・使用する楽曲は、すべての観客に適切かつエンターテインメント性に富んでいること
審査	CFE 公認ジャッジ及びゲストジャッジによる審査 評価基準についてはジャッジシートを参照
人数	3人以上で構成されていること（人数による編成分けの有無に関してはエントリー数に準ずる）
演技フロア	1)奥行 15m×幅 15m以内とする 2)演技者以外のフロアへの立ち入り、及び演技者以外が演技に関わる行為は禁止
衣装 身だしなみ	1)衣装・メイクアップは自由とするが年齢に相応であり、全ての観客に対し適切であること 2)履物は自由とするが、靴下やタイツのみ、または床を傷つける恐れがあるものは禁止 また演技中に脱げてしまう、落下することが無いようにすべての衣装は安全でなければならない
カテゴリー スタイル	演技全体を通して Pom を使用することを推奨するが必須ではない 美しく、シャープで正確な Pom のモーションとダンステクニック、視覚的効果(※1)や同調性が求められる。チームがシンクロし、ひとつに見えることが重要となりダンステクニックを織り交ぜつつも伝統的なチアリーディングの要素も加味する事
演技時間	1分45秒以上 2分15秒以内
手具・道具	Pom 以外の手具（小道具・大道具など）は使用不可
安全規定	①安全性を考慮していない危険な行為、フロアを傷つける恐れのある行為は禁止 ②手に全体重をあげる動作は、何も持っていない状態で実施しなければならない(例外：前転・後転)
タンブリングに 関する 個人での実施 に関して	<p>タンブリング & エアリアルストリートスタイルスキル タンブリングは実施できるが必須ではない。実施する場合は、下記を遵守すること</p> <p>①逆さまの状態の技 ・空中に浮いた状態で行わない技は実施可(三転倒立) ・手の支えのもと行う空中で逆さになる技は実施可。その際ポンや衣装の一部を持たずに行うこと</p> <p>②腰が頭を超える回転を含む技 ・空中に浮かない技は実施可 ・手の支えのもと行う、空中に浮く回転技は 2 連続まで実施可 ・空中に浮く技で手の支えが無い物は以下の条件を全て満たす場合に限り実施可 ◇ひねりは最大 1 回転まで ◇手の支えがない空中で腰が頭を超える回転技と繋げる連続実施は不可 ◇2 連続まで実施可</p> <p>③腰が頭を超える回転を含むタンブリングをしている選手同士が、お互いの体の上や下を通過・越えることは不可</p> <p>④ 腰の高さを超えない空中技から、肩・背中・座位の姿勢で演技フロアに着地することは可能(※膝、腿、うつ伏せ、頭での着地は不可)</p> <p>⑤手にポンや手具、衣装の一部を持った状態で空中に浮いた技から、腕立て伏せの状態からフロアに着地することは不可</p>
リフト&パートナ ーリングなど	リフト・パートナーリングは実施できる（但し、危険が伴わないものに限る。一般競技大会推奨レベルとする）
減点について	違反技・違反行為を行った場合は 1 違反につき最終スコアから-2 点の減点とする
その他	<p>1)主催者は安全性や大会運営に支障があると判断した場合、演技順の変更、演技を中断する権利をもっている</p> <p>2)演技順の変更・演技の中断は原因により下記の扱いとし、全ての判断は主催者が行う ①音響機材や施設の不備など、チーム起因ではない不測の事態の発生、及び傷病者の発生などのトラブル ②道具・衣装・音源の不備やチームの責任によるトラブル 再演技の審査は一度審査した内容は破棄され、改めて一曲通しての審査となる</p> <p>3)チームの代表者（音響担当者）は演技中に続行が不可能と判断した場合、演技の中断を申請することが出来るがこの場合は棄権とみなす</p>



Cheer Dance [Pom/Cheer Dance] Evaluation 部門 全編成共通

競技の枠にとらわれずチアスピリット溢れる演技を求め、CFE 独自のジャッジシートにより点数ジャッジ及び順位が発表される

全編成共通	
演技内容	振付・演出・使用する楽曲は、すべての観客に適切かつエンターテインメント性に富んでいること
審査	CFE 公認ジャッジ及びゲストジャッジによる審査 評価基準についてはジャッジシートを参照
人数	3人以上で構成されていること（人数による編成分けの有無に関してはエントリー数に準ずる）
演技フロア	1) 奥行 15m×幅 15m以内とする 2) 演技者以外のフロアへの立ち入り、及び演技者以外が演技に関わる行為は禁止
衣装 身だしなみ	1) 衣装・メイクアップは自由とするが年齢に相応であり、全ての観客に対し適切であること 2) 履物は自由とするが、靴下やタイツのみ、または床を傷つける恐れがあるものは禁止 また演技中に脱げてしまう、落下することが無いようにすべての衣装は安全でなければならない
カテゴリー スタイル	演技全体を通して Pom を使用することを推奨するが必須ではない チームがシンクロし、ひとつに見えることが重要となり伝統的なチアリーディングの要素も加味する事
演技時間	2分15秒 以内
手具・道具	自由とする ※ただし演技中に使用する全ての手具や道具は選手自身がフロア内に運び設置、及び撤去できるものとする
安全規定	① 安全性を考慮していない危険な行為、フロアを傷つける恐れのある行為は禁止 ② 手に全体重をのせる動作は、手に何も持っていない状態で実施しなければならない(例外：前転・後転) ③ 立位・逆さの体勢やターンから、膝・腿・座位・うつ伏せ・仰向け・スプリットポジションの姿勢になる場合は、少なくとも片手または片足に体重が乗るように行うこと ④ ジャンプ・空中から演技フロアへ着地する場合は、少なくとも片足に体重が乗るように行うこと 但し、ジャンプ・空中に浮いた際の手の位置が腰レベルより下の場合に限り、手(片手含む)からの着地が可能。後方への導入は不可
タンブリング	タンブリングをしている選手の上や下を、タンブリングをしながら通過・越えることは禁止 タンブリングは実施できるが推奨はされない
リフト&パートナーリング	リフト・パートナーリングは実施できるが推奨はされない
減点について	違反技・違反行為を行った場合は 1 違反につき最終スコアから-2 点の減点とする
その他	1) 主催者は安全性や大会運営に支障があると判断した場合、演技順の変更、演技を中断する権利をもっている 2) 演技順の変更・演技の中断は原因により下記の扱いとし、全ての判断は主催者が行う ① 音響機材や施設の不備など、チーム起因ではない不測の事態の発生、及び傷病者の発生などのトラブル ② 道具・衣装・音源の不備やチームの責任によるトラブル 再演技の審査は一度審査した内容は破棄され、改めて一曲通しての審査となる 3) チームの代表者（音響担当者）は演技中に続行が不可能と判断した場合、演技の中断を申請することが出来るがこの場合は棄権とみなす



Dance Competition 部門 全編成共通

この部門は DANCE FORCE 独自のスコアシートによる、点数ジャッジ及び順位が発表される

全編成共通

演技内容	振付・演出・使用する楽曲は、すべての観客に適切かつエンターテインメント性に富んでいること
審査	CFE 公認ジャッジ及びゲストジャッジによる審査 評価基準についてはジャッジシートを参照
人数	5人以上で構成されていること
演技フロア	1)奥行 15m×幅 15m以内とする 2)演技者以外のフロアへの立ち入り、及び演技者以外が演技に関わる行為は禁止
衣装 身だしなみ	1)衣装・メイクアップは自由とするが年齢に相応で全ての観客に対し適切であること 2)履物は自由とするが、靴下やタイツのみ（滑ってしまい危険なため）、または床を傷つける恐れがあるものは禁止 また演技中に脱げてしまう、落下することが無いようにすべての衣装は安全でなければならない
カテゴリー スタイル	Pom/Cheer Dance 以外のダンスがこのカテゴリーに該当する 例) Hip Hop/JAZZ/Contemporary/Lyrical/バトンなど
演技時間	3分00秒 以内
手具・道具	自由とする ※ただし演技中に使用する全ての手具や道具は選手自身がフロア内に運び設置、及び撤去できるものとする ※使用する手具や道具は床を傷つけないものに限る。使用可能かどうか不安な場合は事前に相談をすること
構成	自由とする
安全規定	安全性を考慮していない危険な行為、ヘルメットの使用及びフロアを傷つける恐れのある行為は禁止
その他	1)主催者は安全性や大会運営に支障があると判断した場合、演技順の変更、演技を中断する権利をもっている 2)演技順の変更・演技の中断など、全ての判断は主催者が行う 3)チームの代表者（音響担当者）は演技中に続行が不可能と判断した場合、演技の中断を申請することが出来るがこの場合は棄権とみなす



Showtime 部門

DANCE FORCE を盛り上げてくれる『元気溢れるパフォーマー』を募集します！！

◇審査対象外部部門◇

演技内容	振付・演出・使用する楽曲は、すべての観客に適切かつエンターテインメント性に富んでいること DANCE FORCE の開催主旨を理解し、会場を盛り上げてくれる内容であること
人数	3人以上で構成されていること
演技フロア	1)奥行 15m×幅 15m以内（競技部門ではないため多少のフロアオーバーは可。但し、フロア周りに照明がセッティングされているので照明にあたらぬ範囲であること） 2)演技者以外のフロアへの立ち入り、及び演技者以外が演技に関わる行為は禁止
演出	照明による演出あり（照明の演出リクエストは不可）
衣装 身だしなみ	1)衣装・メイクアップは自由とするが年齢に相応で全ての観客に対し適切であること 2)履物は自由とするが、靴下やタイツのみ（滑ってしまい危険なため）、または床を傷つける恐れがあるものは禁止
演技時間	3分以内が望ましいが、演目により演技時間が3分を超える場合は事前に大会事務局へ相談すること（エントリー時におおよその時間を記載）
手具・道具	自由とする ※ただし演技中に使用する全ての手具や道具は選手自身がフロア内に運び設置、及び撤去できるものとする ※使用する手具や道具は床を傷つけないものに限る。使用可能かどうか不安な場合は事前に相談をすること
構成	自由とする
安全規定	①フロアを傷つける恐れのある行為は禁止 ②その他、危険が伴う動きは細心の注意を払い、出場者自身が怪我のないよう自己責任の下行うこと
その他	1)主催者は安全性や大会運営に支障があると判断した場合、演技順の変更、演技を中断する権利をもっている 2)演技順の変更・演技の中断など、全ての判断は主催者が行う 3)チームの代表者（音響担当者）は演技中に続行が不可能と判断した場合、演技の中断を申請することが出来る